

今年度から如是中学に校長として着任しました檜山です。どうぞよろしくお願ひいたします。

4月8日、入学式で新入生111名を迎え、全校生徒319名で新しい年度がスタートしました。入学式や始業式で子どもたちに向けて「中学校生活で大切にしてほしい3つのこと」を話しました。

1つ目は、「コミュニケーション力をつけてほしい」ということです。

コミュニケーションの第一歩は「あいさつ」です。

自分から、大きな声で、気持ちをこめて元気よくあいさつをすること。そして、しっかりと自分の言葉で気持ちや想いを相手に伝え、相手の気持ちや話もしっかりと聞いて受け止める力、「伝える力・聞く力」をつけてほしいということ。

2つ目は、「自分の夢や目標に向かって、あきらめずにチャレンジしてほしい」ということです。

一生懸命に努力したことは、必ず自分の力となり、いつかきっとそのことが役に立つからです。

3つ目は、「あたり前のことができるようになってほしい」ということです。

「時間を守る。」「正しい服装をする。」「ルールを守る。」ということはあたり前のことで、その気になれば、決して難しいことではありません。気持ちをしっかりと強く持ち、あたり前のことがあたり前にできるようになってほしいということ。

これらは、社会人になるために必要な力です。社会で立派に通用する大人になるために義務教育最後の中学校生活でいろいろなことを体験し、学び、その中から自分でたくさんすることに気づいていきます。持っている力を十分に発揮し、可能性を広げること。そして、この一年、自分をしっかりと磨き、自分らしく輝いてほしいということをお伝えしました。

新型コロナウイルスの関係で今までできていたことができなくなり、感染拡大防止の観点から行事や日常生活においても制限されることや気を付けなければならないことがたくさん増えました。今自分がどんなことに気を付け、何をしなければならないのか、自分や周りの大切な人たちの命や安全を守るためにできることを一人ひとりがしっかりと考えて行動しなければなりません。

今後、困難な課題に直面した時に、義務教育9年間で学んだり経験したりしたことを活かし、しっかりと考え、判断し、正しい答えや選択ができる力がつくよう中学校での3年間をすごしてもらいたいと考えます。令和4年4月1日より成人年齢が引き下げられました。社会に出て通用する大人になるために、自分で判断したことへの責任が取れる大人になるために、自ら考え判断し行動できる「自立」した生徒の育成を目指し取り組みを進めてまいります。あいさつが飛び交い、多様性を認め合い、仲間を大切に、自分を大切にできる安心で安全な如是中学校を教職員一丸となり作っていきます。今後とも如是中学校の教育活動へのご理解とご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。

高槻市立如是中学校 校長 檜山裕美子